

西高生による西高と町の魅力発信！

# 西高Live Vol.13

西和賀高校生と広報にしわがの共同企画ページです。生徒会が取材・編集にチャレンジ!!

平成27年度 7/22

## 復興交流事業

### (震災復興ボランティア)

今回、去年に続いて釜石の復興プロジェクトに参加して改めて良い経験になりました。最初に釜石市中妻消防コミュニティで講演を聞きました。過去の映像と今の映像を比べてみると、四年四ヶ月経って復興に向けてかなり進んでいたの、少し安心しました。その後、午後からは鶴住居地区へ移動し、早速草刈作業が始まりました。暑い中での一時間半の作業でしたが、みんなが協力し合いながら集中して作業を進めることができました。終わった後は、心の底から達成感がわいてきました。

北村 直輝 (二B沢内)



七月二十二日に復興ボランティアがありました。まず、お話を聞いて被災地の現状や震災当時の状況がよくわかり、勉強になったと思います。次に、草を刈るボランティアをしました。みんな炎天下の中、頑張っていたと思います。このような体験は貴重なものになっていくと思います。

高橋 捷之 (一A湯田)

## 野球応援

### ありがとうございます

### ございました

今年は二年ぶりに単独で挑んだ夏の高校野球。初戦の相手は、久慈工業高校でした。絶対に勝つと誓い、練習後には校歌を歌いました。しかし試合は、一回から8点のリードを許し、そのまま七回コールド8対0で試合は終わってしまいました。しかし、地域の方々の声援や全校応援が選手の手となり、その中で野球ができたことを幸せに感じました。新チームになった今も、多くの方々に支えられていることを忘れず、日々感謝の気持ちを持ち練習に励んでいます。来年こそ勝って、西和賀高校の校歌を全校で歌いたいと思います。沢山の声援、本当にありがとうございます。

西和賀高校の『純情応援歌』は、藤井先生の提案で画像のみで作成しました。それが好評だったのか優秀賞を頂きました。私はいつも選手に迷惑ばかりかけているので、少しは力になれる良かったです。副賞で頂いたお米は、おにぎりにして選手の手の中に入れてあげます。

野球部マネージャー 高橋 美咲 (二B沢内)





# 7/25~8/16 待ちに待った夏休み

熱い!

中学生一日体験・ボランティア・課外・部活…とにかく暑い

## 課外

一、二年 7/25 ~ 7/27  
三年 7/28 ~ 8/7  
1230

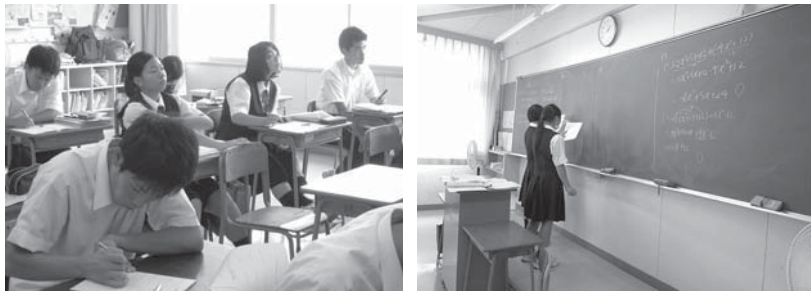
## 課外学習

七月二十五日から七月三十日の間、行われた課外学習は、私たちにとても良い活動だったと思います。

夏期休業に入ると部活が忙しかったり、他にやりたいことがあったりでなかなか集中して学習できないという人が多いと思います。この課外学習に参加することによって、期間中集中して学習することが出来ました。生徒の皆さんにはこの時間を是非、有効活用してもらいたいと思います。また、課外学習が終わっても、家庭での学習も持続的にいき、休み明けの学力アップに向けて頑張っていきたいです。

三年生は八月十二日まで模試や特別講習があるそうです。進路達成に向けて頑張っています。

高橋 紗也佳 (一A湯田)



## 課外を受けて

今年の課外は、暑いなかの課外でした。暑いし、休みだったので正直課外はイヤでした。この気持ちを持ったまま、課外にのぞみました。風もなく、教室にこもる暑さでしたが、勉強したら、案外集中できて、タメになる勉強ができました。

今回一番力をいれた教科は、数学です。中学校から今まで数学は、全然分かりませんでした。

私は今ベーシックで、本当に基礎からの勉強をしています。その基礎が出来るだけで今までより分かることができました。

普段の勉強と課外をやる事で、勉強もたくさんできるしこの課外は大切なものだと思います。そして、今回の五日間でやった勉強の内容は、しっかり復習をし自分の力にしていきたいと思っています。

小原 義輝 (二A北上)

## 中学生一日体験入学

7/27



七月二十七日に西和賀町内や北上地区などの中学生を対象に行われた、西和賀高校一日体験入学は総勢六十九名の中学生を迎えました。

西和賀高校の一年間を映像を混じえ紹介したプレゼンや部活動紹介、全校によるアトラクションなどを通して、西和賀高校の魅力が中学生に伝えることができました。また、今年から体験入学に卒業生体験談が組み込まれたので、西和賀高校について深く知っていただく良い機会だったと思います。この体験が来年の入学生の増加に繋がってほしいと感じます。

北村 竜二 (二B沢内)



## 沢内マラソンボランティア

8/2

八月二日私たち陸上部は、前日の花巻トラック記録会の疲れを引きずりながらも、沢内マラソンのボランティアをしました。こういうマラソン大会のボランティアをするたびに、

選手に元気に圧倒されます。私達のお父さん・いや、おじいさんやおばあさんの年齢の方々まで、楽しんで走り方が元気をもらいました。

北村 渚 (二B沢内)



## 編集後記

今回の八月号では、七月に行われた釜石の復興ボランティアの活動、夏休み期間中に行われた中学生一日体験入学、課外学習、そして野球部のことについてご紹介しました。

中村 航大 (二B沢内)